

健康長寿に係る先進的な取組事例

滑川町

滑川町健康づくり行動宣言 ～みんなが健康で長寿の町～

(1) 取組の概要

平成24年6月定例議会で議決された「滑川町健康づくり行動宣言 ～みんなが健康で長寿のまち～」を基に、町・議会・地域が一体となって健康づくりに取り組むもので、個人・グループ・事業所などを対象としています。

活動の大きな支柱として「健康増進」「地域福祉」「環境整備」の3つを設定し、個々がそれぞれの実情にあった目的を設定し、個人や会員による自主活動の展開を推奨しています。

取り組みの特色としては、行政主導の運動ではなく、個人やグループ等による自主活動に主眼を置き、行政側は当初からサポート役に徹するとしています。健康づくりの運動が、立ち上がっては消えてゆく主な理由として行政の関与が挙げられます。行政が継続的な事業を展開できなくなった時点で、健康づくりの運動も次第に低迷してゆく事例が多いなか、当初から自主運営・自主活動による事業展開を町内各地区にお願いしてきました。居住する地域に密着した活動により、長期にわたる継続的な運動が展開できるものと考えております。

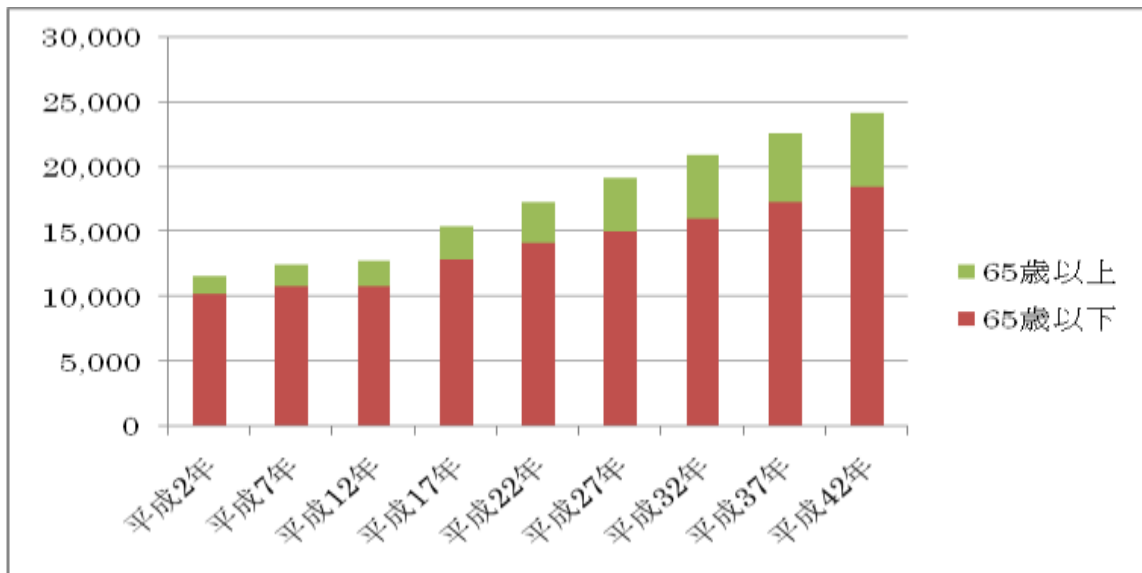


(2) 取組の契機

(ア) 将来人口と高齢化率

滑川町は現在、県内でも有数の人口増加率を誇り、今後も当面の間は人口増加が予想されます。また、高齢化率も比較的低い水準で推移されると予想されます。

人口の推移



人口/年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年
総数	11,566	12,484	12,836	15,434	17,323	19,195	20,979	22,628	24,184
65 歳以上	1,349	1,693	2,007	2,541	3,198	4,119	4,899	5,347	5,684
高齢化率	11.7%	13.6%	15.6%	16.5%	18.5%	21.5%	23.4%	23.6%	23.5%

(イ) 医療費の高騰

平成 24 年 4 月から介護保険料が引き上げられたことを契機に、町の医療費支出を精査したところ、ここ数年来、国民健康保険や介護保険に係る支出が急増している現状が判明しました。

人口構成では比較的若い町でありながら、医療費に係る費用では県内でも上位にランクされており、このことから、将来的な町の財政支出を憂慮し、医療費に係る負担を引き下げることが、住民の豊かな生活に結びつく大きな要因と考え、取り組みを始めました。

(ウ) 各地区集会所の活用

滑川町では、町内各地区に細かく集会所が整備されており、その数は 30 箇所を数えます。地域密着型の健康づくりを推進するにあたり、こうした集会所を活動の拠点にすることができます。また、身近にある施設なので徒歩による参加も容易なため、交通手段を持たない方々も参加する機会を設けることができます。

(エ) 地区活動の縮小化と新たな社会参加

現代社会では人と人との繋がりが薄れつつあります。ここ滑川町でも、10 年前、20 年前と比べれば、地区活動は確実に縮小化しています。

町では、健康づくりを推進するにあたり、こうした地区活動の再活性化を念頭に入れた取り組みを行っています。高齢社会を見据え、単身のお年寄りが増えるなか、自宅に引きこもらず社会参加をすることにより、心身ともに健康な暮らしを営める環境を構築したいと考えています。

(オ) 地域環境・防犯の整備

安全・安心な暮らしをするうえで、地域環境の整備は欠かせません。整備・整理された環境下では犯罪率の低下も認められます。

滑川町では地域環境の美化運動も健康づくり活動と絡めて、各地区で実践していただいています。



(カ) 取組の内容

事業名	滑川町健康づくり行動宣言 ～みんなが健康で長寿の町～
事業開始	平成24年度

	平成25年度	平成24年度
予 算	250万円 ・推進員報償費 64万円 ・啓発品 29万円 ・講師謝礼 27万円 ・健康づくり助成金 130万円	172万円 ・啓発品 43万円 ・のぼり旗、懸垂幕 21万円 ・地区配布用血圧計 95万円 ・通信費 13万円
参加人数	800人	300人
期 間	平成25年4月～平成26年3月	平成24年4月～平成25年3月
実施体制	自治会14団体、保健センター、健康づくりグループ30団体	自治会14団体、保健センター

○平成24年度

① 健康づくり説明会の開催（平成25年8月～12月）

町内の集会場を単位に、32回の健康づくり説明会を開催した



② 啓発品の配布及び貸出（平成25年11月～平成26年3月）

健康フェスティバルで健康づくりの啓発品を配布

町内の各集会所に血圧計を設置

健康づくりグループの設立勧奨と結成された健康づくりグループへ啓発品の配布
食品に含まれる塩分計測器の貸出

○平成25年度

① 健康づくり推進員の配置（平成25年4月～）

健康づくり運動を積極的に推進するため、各地区に健康づくり推進員を設置。又、健康づくり推進員には、健康づくりに関する知識と技術を得るためのスキルアップ講座を年5回開催予定

② 健康づくりグループ助成事業（平成25年4月～）

結成された健康づくりを目的とした自主活動グループを支援するため、活動内容に応じた助成金を交付

③ 未組織地区への活動勸奨（平成25年4月～）

町内未組織地区への設立勸奨を出張講座とともに開催

④ ラジオ体操健康タウン推進モデル地域（平成25年6月～）

身近な健康づくりの取り組みとして、ラジオ体操を積極的に活用するために指定を受け教室を開催

⑤ 埼玉県健康長寿サポーター事業の取り組み（平成25年9月～）

健康づくりへの住民の理解促進及び普及啓発事業の一環として、積極的な取り組みを実施する

⑥ 健康診査の受診勸奨（平成26年1月～）

町内の各地区区長及び各地区健康づくり推進員を通じて、区民へ特定検診を始めとする健康診査の受診勸奨を開始する



(キ) 取組の効果

① 予防効果

現時点では未確認

② 地方自治体にとっての効果

将来的な医療費抑制を視野に入れ活動しているが現時点では未確認

(ク) 成功の要因、創意工夫した点

① 自主活動を活動の中心に

行政主導ではなく、各地区の自主活動を運動の中心に添えたことにより、自ら学び、自ら行動する健康意識の高揚が図られつつある

② 社会参加の促進

健康づくりのテーマ以外に、社会参加も大きなテーマとしていることにより、参

加対象者の拡大が図れる。

(ケ) 課題、今後の取組

① 継続した行政側のサポート体制

自主活動中心の運動ではあるが、行政側のサポートは必要不可欠であり、長期的な視野に立った継続的なサポート体制を構築する必要がある。

② 人材育成と活動会員の拡充

各地域で活動を率先して牽引する人材を育成すること、及び継続的な活動勧奨により新規組織・既存組織の拡大拡充を図ること。

③ 関係機関との連携

現在は、活動のベースとなる組織づくり・人材づくりに傾注しているが、医療を始めとする関係機関との協力体制を構築していく必要がある。

滑川町健康づくり行動宣言

～みんなが健康で長寿の町～

滑川町の豊かな自然環境の中で、心身ともに健康で、安心して幸せな生活を送ることは、私たち町民の願いです。

「自分の健康は自分でつくる」ことを基本に、町民が手を携えて、健やかに育ち健康を守る活動に積極的に取り組む必要があります。

少子高齢化が進む中、医療費を抑え、生涯を通じて健康で安心して暮らせる町を、そこに暮らす人や企業、グループ、地域、行政が一体となって作るため、次のことを提唱し、「みんなが健康で長寿の町」を合言葉に滑川町は、健康づくり行動にまい進することを宣言します。

- 1 食生活を見直し、運動に親しみ、元気な身体をつくります
- 1 禁煙や生活習慣など、家族みんな健康について話し合います
- 1 健康診査を毎年受け、自分の身体の健康を考えます
- 1 仕事や家事の手を休め、心のゆとりをつくります
- 1 元気な地域づくりを目指します
- 1 人と自然とが共生した、みんなが住みよい環境を作ります

平成 24 年 6 月